

平成22年京都市の合計特殊出生率

平成22年の京都市独自集計の合計特殊出生率を算出しましたので、ご紹介します。

○ はじめに

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の、年齢別出生率を合計したものです。

合計特殊出生率には、期間合計特殊出生率と、コーホート合計特殊出生率の2種類がありますが、ここでは、通常、年次比較や地域比較に用いられる、期間合計特殊出生率について紹介します。(期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率については、最終ページの「参考」をご覧ください。)

本市では、合計特殊出生率の算出に使用する基礎資料として、出生数は厚生労働省「人口動態調査(平成22年)」の母の年齢(5歳階級)別出生数、女性人口は住民基本台帳の年齢(5歳階級)別女性人口を用いています。

1 平成22年の合計特殊出生率(独自集計)

平成22年の京都市の合計特殊出生率は1.21で、前年と比べて0.03ポイント上昇しました。

合計特殊出生率を計算する際の分子となる出生数が2年ぶりに増加に転じた一方で、分母となる女性人口が引き続き減少したため、合計特殊出生率は平成12年以来10年ぶりに1.2を上回りました。

表-1 合計特殊出生率の計算結果

母の年齢階級	出生数(人)		女性人口(人)		合計特殊出生率	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
合計	11,446	11,556	312,975	311,418	1.178007	1.213672
15~19歳	130	129	29,829	29,968	0.021791	0.021523
20~24歳	1,013	957	40,466	39,141	0.125167	0.122250
25~29歳	2,997	3,071	45,967	44,896	0.325995	0.342013
30~34歳	4,373	4,214	50,040	48,304	0.436950	0.436196
35~39歳	2,548	2,712	55,809	55,684	0.228279	0.243517
40~44歳	368	462	48,663	49,223	0.037811	0.046929
45~49歳	17	11	42,201	44,202	0.002014	0.001244

注) 平成21年の出生数には、50歳以上の2人を45歳から49歳に含んでいます。

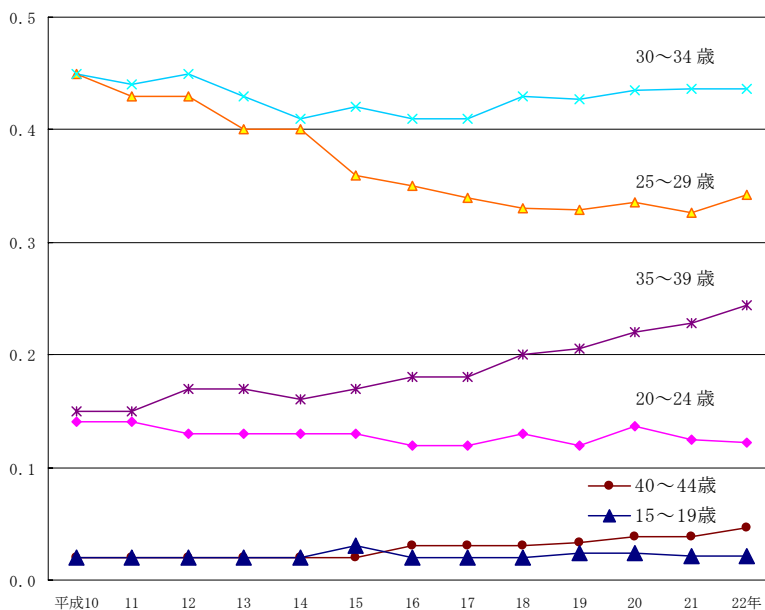
2 母の年齢(5歳階級)別合計特殊出生率

合計特殊出生率を、母の年齢(5歳階級)別に平成21年と比べると、25歳から29歳、35歳から39歳、40歳から44歳では上昇し、他の年齢階級では低下しました。

このうち、10歳代では、横ばい傾向が続いています。20歳から24歳では2年連続で低下しました。25歳から29歳では2年ぶりに上昇に転じました。近年、出生数が最も多い30歳から34歳では、出生数及び同世代の女性人口がともに減少し、女性人口の減少幅が大きかったため、出生率はわずかに低下しました。35歳から39歳では、出生率が8年連続で上昇するとともに、出生数は平成8年以降15年連続で増加しています。40歳から44歳では、ゆるやかな上昇傾向にあります。

また、平成9年以降、14年連続で、30歳から34歳までの出生率が最も高くなっています。一方、平成8年に最も高かった25歳から29歳までの出生率は低下傾向にあります。(図-1、次ページ表-2参照)

図-1 母の年齢(5歳階級)別合計特殊出生率の推移



注) 45~49歳は数値が小さいため省略しています。

表－２ 母の年齢（５歳階級）別合計特殊出生率の推移

年齢階級	平成 10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
合 計	1.23	1.20	1.21	1.16	1.15	1.14	1.12	1.11	1.14	1.14	1.19	1.18	1.21
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
20～24歳	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.12	0.14	0.13	0.12
25～29歳	0.45	0.43	0.43	0.40	0.40	0.36	0.35	0.34	0.33	0.33	0.34	0.33	0.34
30～34歳	0.45	0.44	0.45	0.43	0.41	0.42	0.41	0.41	0.43	0.43	0.43	0.44	0.44
35～39歳	0.15	0.15	0.17	0.17	0.16	0.17	0.18	0.18	0.20	0.21	0.22	0.23	0.24
40～44歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05
45～49歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3 行政区別合計特殊出生率

合計特殊出生率を行政区別にみると、最も高いのは9年連続して南区で1.42、次いで伏見区の1.35、西京区の1.33の順となっています。一方、最も低いのは東山区で0.82、次いで下京区の1.00、中京区の1.01の順となっています。また、京都市の1.21を上回る行政区は、山科区、南区、右京区、西京区、伏見区の5行政区となっており、周辺区で高くなっています。

前年と比べると、左京区では0.02ポイント低下した一方、その他の10行政区では上昇し、上京区で0.10ポイント、中京区及び下京区で0.07ポイントの伸びとなりました。中京区では平成12年以来10年ぶりに1.0を超えました。

表－３ 行政区別の合計特殊出生率

	市計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見
合計特殊出生率												
平成11年	1.20	1.08	0.82	1.03	0.97	0.77	1.25	1.00	1.46	1.14	1.46	1.42
12年	1.21	1.03	0.87	1.08	1.00	0.81	1.35	1.03	1.40	1.29	1.37	1.36
13年	1.16	1.06	0.90	1.01	0.93	0.78	1.21	0.93	1.34	1.17	1.33	1.37
14年	1.15	1.04	0.87	1.02	0.96	0.72	1.21	1.06	1.37	1.21	1.35	1.28
15年	1.14	1.02	0.83	1.01	0.92	0.73	1.22	1.03	1.39	1.18	1.26	1.29
16年	1.12	1.03	0.89	0.98	0.84	0.66	1.24	1.00	1.32	1.17	1.25	1.25
17年	1.11	1.05	0.90	1.01	0.93	0.69	1.15	0.95	1.38	1.18	1.25	1.23
18年	1.14	1.10	0.90	1.04	0.87	0.79	1.20	1.05	1.33	1.19	1.28	1.28
19年	1.14	1.13	0.84	1.07	0.92	0.84	1.22	0.99	1.36	1.18	1.24	1.26
20年	1.19	1.15	0.99	1.11	0.98	0.69	1.24	1.00	1.48	1.23	1.34	1.31
21年	1.18	1.11	0.92	1.16	0.94	0.79	1.25	0.93	1.39	1.23	1.31	1.33
22年	1.21	1.13	1.02	1.14	1.01	0.82	1.31	1.00	1.42	1.27	1.33	1.35
15～19歳	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.04	0.02	0.03	0.04	0.02	0.02	0.03
20～24歳	0.12	0.09	0.05	0.07	0.05	0.06	0.16	0.07	0.17	0.11	0.15	0.21
25～29歳	0.34	0.29	0.24	0.28	0.24	0.20	0.42	0.23	0.46	0.38	0.42	0.40
30～34歳	0.44	0.45	0.42	0.46	0.40	0.25	0.44	0.38	0.48	0.47	0.44	0.44
35～39歳	0.24	0.24	0.26	0.27	0.28	0.23	0.23	0.24	0.24	0.25	0.24	0.22
40～44歳	0.05	0.05	0.04	0.07	0.04	0.05	0.04	0.06	0.03	0.04	0.05	0.04
45～49歳	0.00	—	0.00	—	—	—	—	0.00	—	0.00	—	0.00
母の年齢（５歳階級）別出生数（人）												
平成22年	11,556	772	545	1,148	822	198	1,148	650	880	1,612	1,366	2,415
15～19歳	129	6	3	7	3	5	11	6	14	16	18	40
20～24歳	957	52	23	58	29	14	112	34	86	122	120	307
25～29歳	3,071	172	125	247	191	48	340	168	281	438	395	666
30～34歳	4,214	303	223	462	327	61	394	254	311	597	462	820
35～39歳	2,712	201	149	306	243	58	249	156	169	379	310	492
40～44歳	462	38	21	68	29	12	42	31	19	56	61	85
45～49歳	11	—	1	—	—	—	—	1	—	4	—	5

4 全国及び京都府との合計特殊出生率の比較

平成22年の全国の合計特殊出生率は1.39、京都府の合計特殊出生率は1.22となっています。前年と比べると、全国、京都府ともに、0.02ポイント上昇となっています。

京都市の合計特殊出生率1.21と比べると、全国では0.18ポイント、京都府では0.01ポイント、それぞれ京都市が低くなっていますが、国及び京都府との差は前年よりも0.01ポイント縮まりました。

表-4 京都市、京都府、全国の合計特殊出生率の推移

年次	出生数(人) a)			合計特殊出生率 b)		
	京都市 c)	京都府	全国	京都市 c)	京都府	全国
昭和45年	25,240	41,235	1,934,239	1.91	2.02	2.13
50年	22,457	39,921	1,901,440	1.66	1.81	1.91
55年	17,619	32,139	1,576,889	1.54	1.67	1.75
60年	15,643	28,479	1,431,577	1.55	1.68	1.76
平成元年	13,590	24,855	1,246,802	1.41	1.46	1.57
2年	13,386	24,209	1,221,585	1.38	1.48	1.54
3年	12,945	23,487	1,223,245	1.34	1.39	1.53
4年	13,113	23,838	1,208,989	1.34	1.38	1.50
5年	12,611	23,082	1,188,282	1.27	1.32	1.46
6年	13,352	24,245	1,238,328	1.33	1.37	1.50
7年	12,673	23,219	1,187,064	1.25	1.33	1.42
8年	13,204	24,023	1,206,555	1.27	1.30	1.43
9年	12,946	23,595	1,191,665	1.23	1.26	1.39
10年	13,144	24,312	1,203,147	1.23	1.26	1.38
11年	12,868	23,831	1,177,669	1.20	1.22	1.34
12年	13,002	23,997	1,190,547	1.21	1.28	1.36
13年	12,513	23,364	1,170,662	1.16	1.20	1.33
14年	12,386	22,859	1,153,855	1.15	1.17	1.32
15年	12,072	22,371	1,123,610	1.14	1.15	1.29
16年	11,764	22,066	1,110,721	1.12	1.14	1.29
17年	11,612	21,560	1,062,530	1.11	1.18	1.26
18年	11,845	22,100	1,092,674	1.14	1.19	1.32
19年	11,534	21,597	1,089,818	1.14	1.18	1.34
20年	11,789	21,842	1,091,156	1.19	1.22	1.37
21年	11,446	21,059	1,070,035	1.18	1.20	1.37
22年	11,556	21,234	1,071,304	1.21	1.22	1.39

a) 出生数は厚生労働省「人口動態統計」によります。

b) 算出に用いる女性人口について、京都市は住民基本台帳人口の女性人口（昭和60年以前は国勢調査による日本人女性人口）を、京都府及び全国の国勢調査実施年（平成22年を除く。）は国勢調査による日本人女性人口、その他の年は京都府が推計人口による女性人口、全国は推計人口による日本人女性人口を使用しています。平成22年の京都府及び全国結果は概数です。

c) 京都市の出生数には、平成17年3月までの京北町分を含みません。また、合計特殊出生率は、当時の市域で算出しています。

参考

1 「期間合計特殊出生率」と「コーホート合計特殊出生率」について

「期間合計特殊出生率」は、ある期間（1年間）の出生状況に着目して、その年における各年齢（15歳から49歳まで）の女性の出生率を合計したものです。

「コーホート合計特殊出生率」は、ある世代の出生状況に着目して、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15歳から49歳まで）の出生率を積み上げたもので、「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」を意味する出生率です。ただし、この出生率はその世代が50歳になるまで得られないため、通常、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている合計特殊出生率は、「期間合計特殊出生率」により算出されています。

2 京都市の合計特殊出生率の算出方法

年齢（5歳階級）ごとに母の年齢別出生数を住民基本台帳による年齢別女性人口で除したものを5倍にした数値を足し上げています。合計特殊出生率は、年齢（各歳）ごとの出生率を足し上げる仕組みであることから、5歳階級で計算する場合は当該年齢階級の平均値を5倍しています。